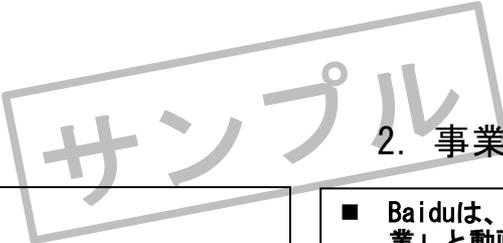


サンプル

特定企業調査報告書

(バイドゥ株式会社 Baidu, Inc. 編 サマリー)

株式会社AIRI



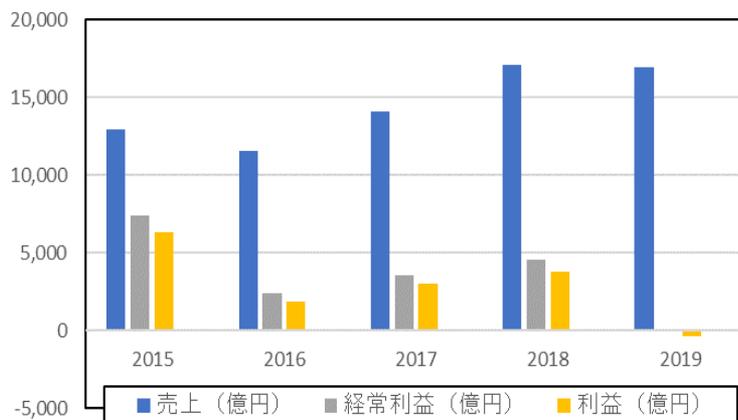
1. 会社概要（経営指標）

2. 事業概要

■Baidu, Inc. の概要

本社所在地	北京市, 中国
設立年月日	2000年 1月 1日
年間売上高	16,960億円(2019年12月)
従業員数	37,779名(2019年12月現在)

■Baiduの業績推移(単位:億円)



	2015	2016	2017	2018	2019
売上 (億円)	12,907	11,557	14,079	17,085	16,960
経常利益 (億円)	7,370	2,377	3,533	4,564	-54
利益 (億円)	6,306	1,900	3,036	3,772	-361

■ Baiduは、検索やAIサービスなどを提供する「Baidu Core事業」と動画を中心としたオンラインエンターテインメント事業「iQIYI事業」の2つを主な事業として展開しています。

1. Baidu Core事業

(1) 検索プラスフィード（「Baidu App」、ショートビデオ製品、ナレッジ&インフォメーション製品（「Baidu Knows」「Baidu Wiki」「Baidu Post」など）、オンラインマーケティングサービス（「モバイルエコシステム」））を展開しています。

(2) 新規AI事業（「DuerOS」（音声アシスタント・スマートデバイス）、「Baidu Cloud」（AIソリューション・クラウドサービス）、「Apollo」（自律運転・スマート交通）など）を展開しています

2. iQIYI事業

iQIYIは、中国の革新的な市場をリードするオンラインエンターテインメントサービスプロバイダーであり、iQIYIのプラットフォームには、人気の高いオリジナルコンテンツのほか、プロが制作したコンテンツ、プロのユーザーが制作したコンテンツ、ユーザーが作成したコンテンツなどの包括的なライブラリがあります。

iQIYI事業は、主に中国で行われており（2017年から2019年までの収益は98%が中国）、事業売上比率の伸びが著しく、2015年の8%から2019年の27%と急拡大しています。

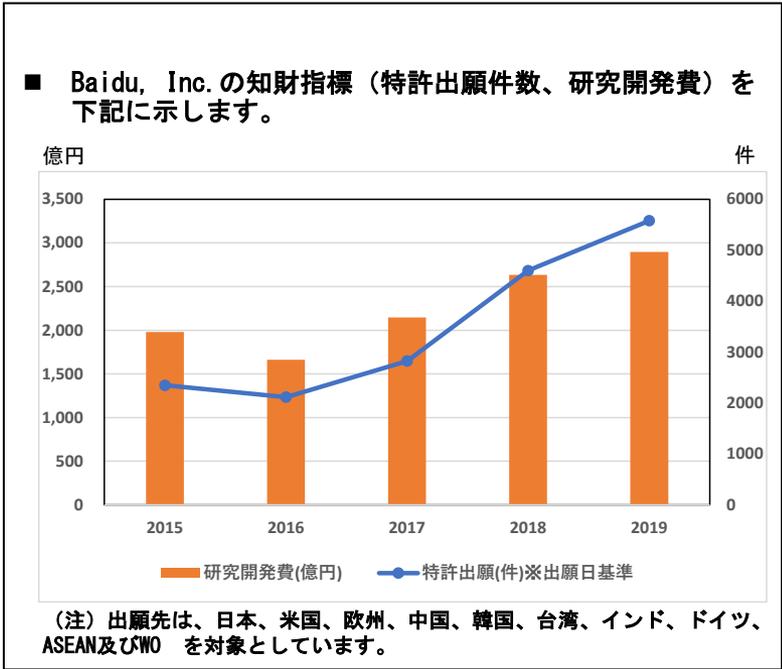
	2015	2016	2017	2018	2019
iQIYI事業売上比率	8.0%	15.9%	20.5%	24.4%	27.0%



3. 研究開発情報

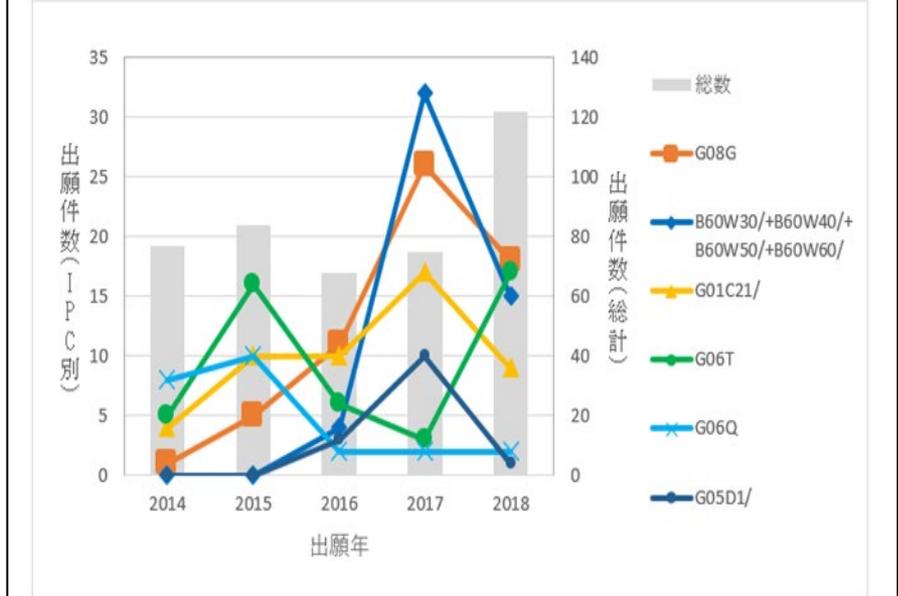
- 中国と米国に複数の研究所を設立し、研究開発力を強化しています。特に効率的なデータ解析やロボティクスなどに注力しています。
- 人工知能、検索、P4P、大規模システムなどで構成される独自の技術基盤を構築しており、確立されたインフラはモバイル、PC、AIプラットフォームのバックボーンとなっています。

4. 知財情報

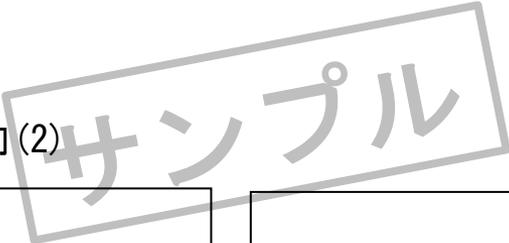


5. 各国・地域への特許出願動向(1)

- Baidu, Inc. の日本国特許庁への特許出願件数は下記のとおりです。
2017年からB60W(異なる種類又は異なる機能の車両用サブユニットの関連制御 ハイブリッド車両に特に適した制御システム)とG08G(交通制御システム)が増加していることがわかります。



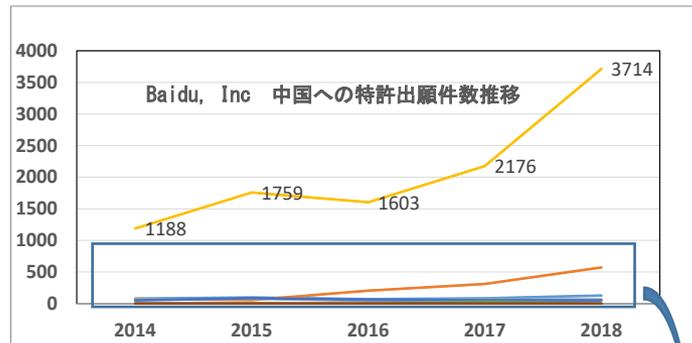
注) IPCクラスは公報に付与されているすべてを対象にしています。



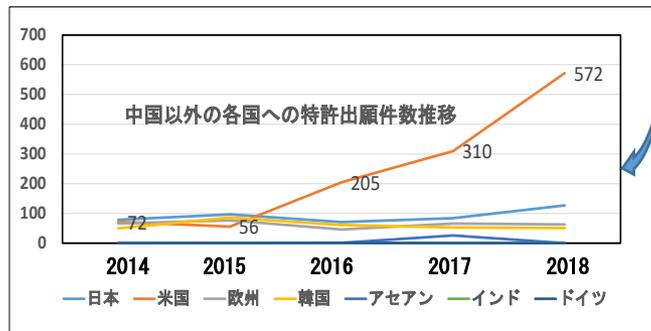
5. 各国・地域への特許出願動向(2)

Baidu, Inc. の中国および日本、米国、欧州、韓国、アセアン、インド、ドイツへの特許出願件数推移は下記のとおりです。

2016年、中国への出願が少し減りましたが、2017年以降急増しているのが分かります。

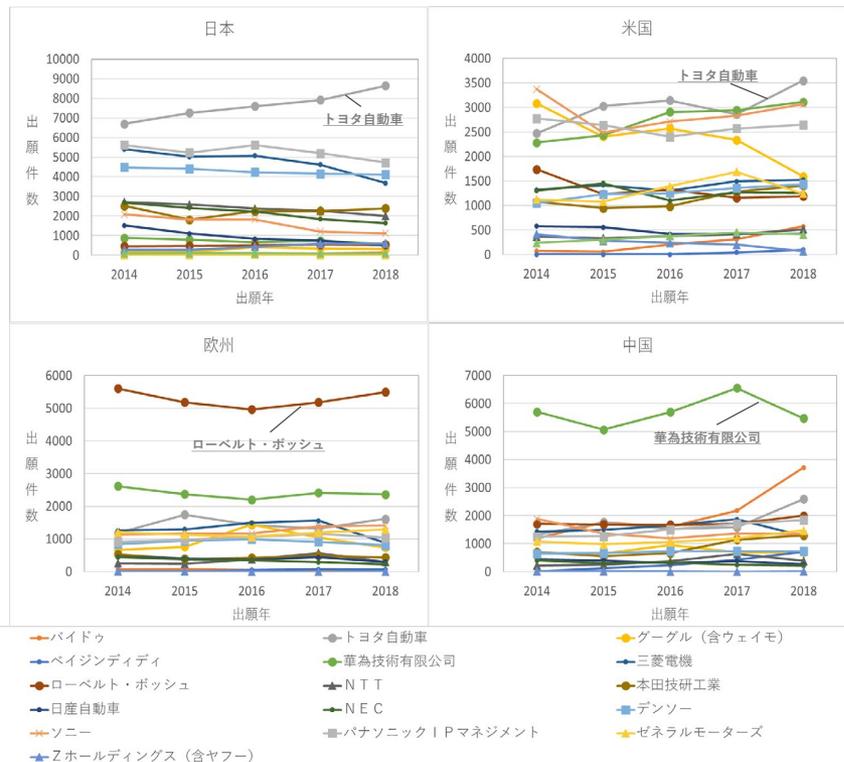


中国出願同様、米国への出願が急増しているのが分かります。



競合企業の分析

Baidu, Inc. および競合企業15社の日本、米国、欧州、中国への特許出願件数は下記のとおりです。



サンプル

6. 業界相関図

Baidu, Inc. を取り巻く自動運転の業界相関図は以下のとおりです。

